

様式 1（主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○平和学習の充実
主な取組	児童生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育（小学校・中学校）		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・ 沖縄戦の実相と教訓を正しく次世代に伝えていくため、沖縄戦の調査研究を進めるとともに、子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
学習指導要領に示された内容や指導の努力点を踏まえた児童生徒への着実な平和教育の実施。	県,市町村,各学校	学校や地域の状況を踏まえた児童生徒への平和教育		
		各学校における児童生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育の実施率		
		100%	100%	100%
担当部課【連絡先】	教育庁義務教育課		【 098-866-2741 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

—

—

令和7年度活動内容

戦後80年を契機に地域の実態に応じた平和教育に係る授業モデルを作成し、情報を提供して平和教育の推進を図った。

(単位：千円)

予算事業名

—

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和8年度活動計画

初任研や経年研等で教職員の平和教育研修を推奨することで、研修の機会を確保し、学校には平和教育に関する情報を提供して平和教育の推進を図る。

活動指標名

各学校における児童生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育の実施率

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

100%

100%

100.0%

順調

初任研や経年研等で教職員の平和教育研修を推奨することで、研修の機会を確保し、学校には平和教育に関する情報を提供して平和教育の推進を図る。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
全ての学校で平和教育が実施されており、目標を達成している。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
地域の実態に応じながら、児童生徒が「自分事」として捉えることができるよう教員の指導力の向上を図るため、初任研、経年研等での研修実施や平和教育に役立つ情報を提供する。	・各学校の平和教育の取組に関する情報共有を図る。 ・初任研、経年研等の教職員研修において、平和教育を位置付け、教師の指導力向上を図る。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	戦争体験者（語り部）が高齢となり、外部講師等を招いての平和学習の設定が難しくなっている。また、児童生徒の発達段階に応じた指導が課題となっている。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	戦争体験者のみならず、多様な外部講師、様々な場面・情報等の提供や、教職員研修等で平和教育研修を推奨する。発達段階に応じた平和教育に資する教職員の指導力の育成等を通し、平和教育の充実を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○平和学習の充実
主な取組	生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育（高等学校）		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・ 沖縄戦の実相と教訓を正しく次世代に伝えていくため、沖縄戦の調査研究を進めるとともに、子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
学習指導要領に示された内容（歴史教育関連）の着実な実施。高等学校における平和教育の取組。	県,各学校	学校や地域の状況を踏まえた生徒への平和教育		
		各学校における生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育の実施率		
		100%	100%	100%
担当部課【連絡先】	教育庁県立学校教育課		【 098-866-2715 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	戦後80周年平和教育推進事業				予算事業名	－	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度		
		主な財源	実施方法		当初予算額		
県単等	その他	7,046	6,484		－	－	
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画		
戦後80年を契機に平和教育フォーラム、平和教育推進リーダー育成研修を実施した。各校の平和教育に関する情報を提供して平和教育の推進を図った。					初任研や経年研等で教職員の平和教育研修を推奨することで、研修の機会を確保し、学校には平和教育に関する情報を提供して平和教育の推進を図る。		

活動指標名	各学校における生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育の実施率		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		順調
	－	－	100%	100%	100.0%		

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
各学校における慰霊の日に向けた取組は100%と目標を達成している状況にある。（「6月23日「慰霊の日」に関する行事等の計画及び実施状況調査」より）	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
地域の実態に応じながら、生徒の主体性を引き出し、学びに寄り添いコーディネートする教員の指導力の向上を図るため、初任研、経年研等での研修実施や平和教育に役立つ情報を提供する。	・各学校の平和教育の取組に関する情報を提供した。 ・初任研、経年研等の教職員研修において、平和教育を位置付け、教師の指導力向上を図った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	戦争体験者（語り部）が高齢となり、外部講師等を招いての平和学習の設定が難しくなっている。また、児童生徒の発達段階に応じた指導が課題となっている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	戦争体験者のみならず、様々な外部講師に関する情報等の提供や、教職員研修等で平和教育研修を推奨し、児童生徒の発達段階に応じた平和教育に資する教職員の指導力の育成等を通し、平和教育の充実を図る。